

平成 18 年 7 月 18 日

定期検査中の 1 号機原子炉建屋における水漏れについて

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所 1 号機は定期検査中ですが、平成 18 年 7 月 16 日午前 6 時 56 分頃、原子炉建屋 4 階の制御棒駆動機構補修室内に設置されている制御棒駆動機構分解水槽*から水が溢れ、床に漏れていることを当社運転員が確認しました。

水漏れは当該水槽の元弁を閉めたことにより止まりました。

漏れ量は約 50 リットル、放射エネルギーは約 7.9×10^2 ベクレルでした。漏れた水は、拭き取りにより回収し、清掃を実施しました。

なお、制御棒駆動機構補修室内での点検作業が終了したことから、当該水槽の元弁を作業前の状態に戻すため、7 月 15 日に開けておりました。

水漏れの原因は、元弁と当該水槽の間にある水槽の入り口弁（通常は閉）にシートリークがあったため当該水槽に水が流れ込み、溢れ出たものと推定しております。

今後、当該水槽の入り口弁の点検を実施し、必要な対策を講じます。

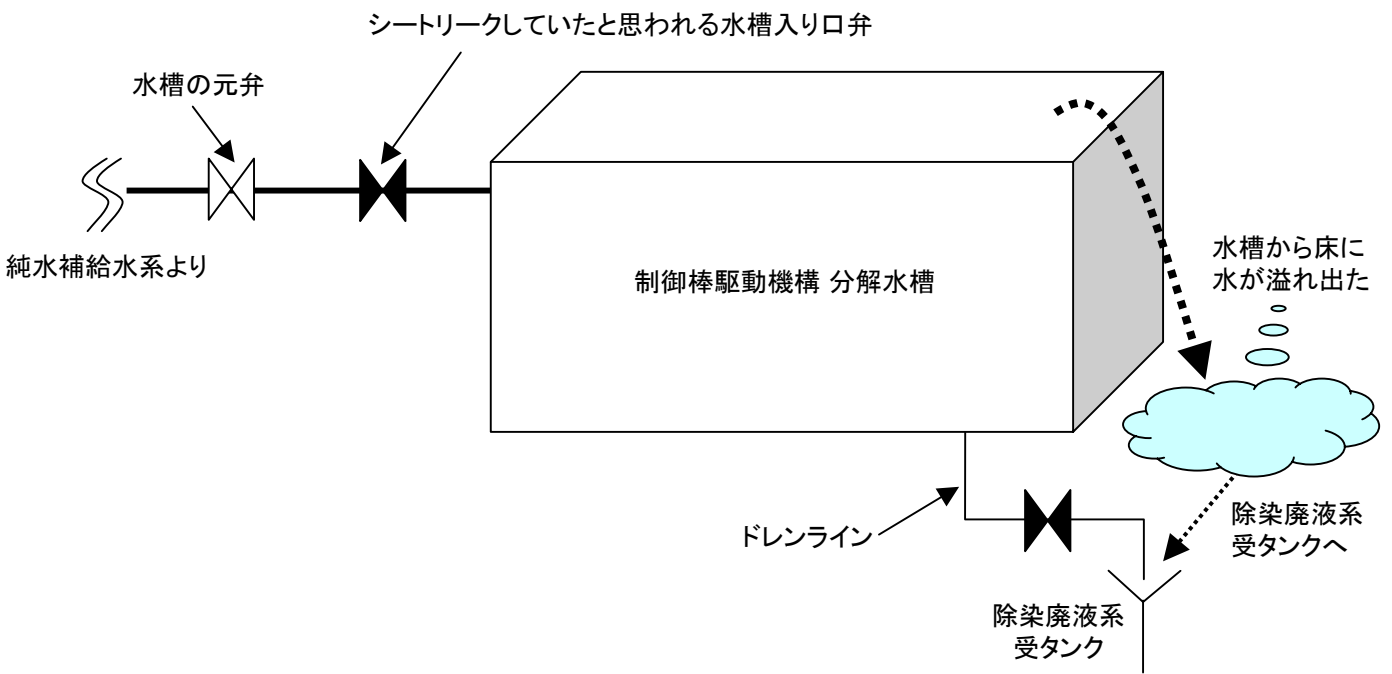
これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

*：制御棒駆動機構分解水槽

制御棒駆動機構を分解し洗浄するための水槽。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」
(平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み)における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。



制御棒駆動機構 分解水槽系統図